



2020
下関市立美術館
しものせきしりつじゆつかん

桂ゆき 《虎の威を借りる狐》

ふしぎな作品と向き合っ
て、考えることを楽しもう！



所蔵品展 No.153
「夏休み美術探偵」

この《たぬき》のように○だけで
動物をかいてみましょう！
作品を見て、いろんな発見ができたかな？
他の作品からも、
隠されているミツをさがしてみよう！



桂ゆき 《たぬき》1985年



殿敷侃 《作品A (題不詳)》

どんな人たちがいますか？

この人たちはどこにいて、何をしているのでしょうか？

絵のなかの人たちは、なにを言おうとしているんだろう。
じっくり見ると、さいしょとイメージがかわってきたなあ…。
みんなはどうだった？

トラとキツネはどんなかんけいなんだろう。
なにかストーリーがかかっているかな？

キツネはトラをみて、何を言っているのでしょうか？

「トラの顔をかき回すキツネ」とは、
強い人にならなくていいよとほめてくれるひとのことですか。
トラの顔や体はどんなふうになっているのでしょうか？
さわったらどんな音がするかな？

捜査その②

植木茂さんは、心に浮かんだ
形を自由に組み合わせて、
生き生きとした彫刻をつくりました。
たとえばこの右の作品はどうでしょう？

「トルソ」は、イタリア語で胴体という
意味ですが、どうも見たままのすがたとは
ちがうようです。

どんなポーズをしているのでしょうか？

どんな動きをして、何を話しているのでしょうか？

このトルソは、どんなきもちでしょう？



桂ゆきさんの作品には、ユーモラスな
動物たちが出てきます。
どんなストーリーが推理してみましよう。

捜査その③

植木茂 《トルソ》1962年頃



こんにちは！今日はぼくと
いっしょに、展示されている
作品に何がかかっているか
さがしてみよう！

捜査その①

殿敷侃さんは、
いろいろな方法で絵をかいています。
絵の具やペン、スタンプ、版画など…
かかっているものも、さまざまです。
よく目をこらして、
見つけたことを教えてください。